

2006年11月12日

尼崎市長選挙 候補者

各 候補者 様

NPO法人 神戸の冬を支える会

理事長 森山 一弘

神戸市中央区中山手通1丁目28番7号

TEL : 078 - 271 - 7248

E-mail : kobe-fuyu@nifty.com

### 公開質問書

私たち、「神戸の冬を支える会」は震災のあった1995年の秋から、神戸を中心に野宿を余儀なくされている人たちの支援活動を行ってきています。尼崎でも1999年12月より、活動を行ってきており2004年10月には特定非営利活動法人格を取得いたしました。ご存じのとおり、尼崎市内で野宿を余儀なくされている人の数は、345人と公表されており、この数字は兵庫県下で野宿生活を余儀なくされている人の総数764人の45%にあたります。

2002年に「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法（以下、「特別措置法」と略す）」が公布、施行され、翌年7月には政府が「ホームレスの自立の支援等に関する基本方針（以下、「基本方針」と略す）」を定め、また、2004年7月には尼崎市も参加されて「兵庫県ホームレスの自立の支援等に関する実施計画（以下、「実施計画」と略す）」を策定されたことはご承知の通りです。それにもかかわらず尼崎市においては現在まで野宿者支援のための積極的な施策が構築されておりません。政府は、すでに「特別措置法」と「基本方針」の見直しに向けたスケジュールを明らかにしています。

野宿に至った要因は、様々ですが、決して一人ひとりが怠惰であったわけではありませんし、望んで野宿をしているわけでもありません。野宿しながらも、空き缶を集めたりしながら、なんとかその日その日をしのいでいることを、知っていただきたいと思います。家を失ったことによって蒙る不利益は、想像されているもの以上のもので、生命をも失ってしまうかもしれないぎりぎりの所で、日々踏ん張っている野宿者が、一日も早く野宿から脱却できるよう、ご尽力いただきたいと考えています。

選挙期間中の限られた時間の中でお忙しいとは思いますが、下記の質問項目にご回答いただき

きますようお願いいたします。

#### 質 問 項 目

- 1 尼崎市内の野宿者の現状についてどのように考えられているのかお答え下さい。
- 2 「特別措置法」においては自治体の実情に応じた自立支援策を策定する義務があるとされていますが、尼崎市内で野宿生活を余儀なくされている方々が野宿生活から脱却できるような支援施策を構築される予定があるかどうかをお答え下さい。
- 3 どのような自立支援策を策定されようとしているのか具体的にお答え下さい。

以 上

お忙しいとは思いますが、11月17日中に、Eメールでご回答いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

お答えいただいた回答につきましては、私どものホームページで公表しますとともに各新聞社へお知らせすることを付言しておきます。

尼崎市長選挙 公開質問書 回答一覧（回答順）

| 質問項目  | 回答   |          |
|---|--|----------|
|   | 白井 文 候補  | 谷川 雅秀 候補 |
| 1 尼崎市内の野宿者の現状についてどのように考えられているのかお答え下さい。  | 震災後、市内に野宿者が増大していることは由々しき問題であると感じています。今年、釜ヶ崎の現地視察を行い、阪神福祉事業団にも視察するよう要請して市が行うべきことを検討してもらっています。               |          |
| 2 「特別措置法」においては自治体の実情に応じた自立支援策を策定する義務があるとされていますが、尼崎市内で野宿生活を余儀なくされている方々が野宿生活から脱却できるような支援施策を構築される予定があるかどうかどうにお答え下さい。 | 自立支援策については住まいの確保と就労の支援の課題が中心と考えています。賃貸住宅など民間の支援も積極的に促しながらそれを行政がサポートする方策を具体的に考えたい。同時に野宿者の生活支援に住民の協力もお願いしたい。 |          |
| 3 どのような自立支援策を策定されようとしているのか具体的にお答え下さい。   |  |          |

谷川正秀候補からは回答期限の11月19日までに回答がありませんでした。